

株主メモ

STOCKHOLDER MEMO	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金(実施する場合) 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
	証券会社等に口座をお持ちの場合
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社になります。 みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行ならびにみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行については、右の[特別口座の場合]の郵便物送付先・電話 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座をお問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告によって行います。(http://www.carlithd.co.jp) ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

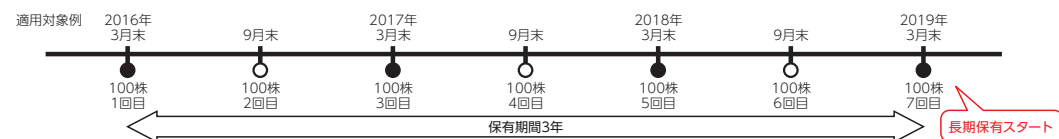
株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、当社株式への投資魅力を高め、当社株式を中長期的に亘り保有していただくことを目的に、下記の通り株主優待制度を導入しております。

所有株式数	内容	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株~499株	UCギフトカード 500円分	同 1,500円分
500株~999株	UCギフトカード 1,000円分	同 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 1,500円分	同 2,500円分

ご留意点

- ①保有期間については、3月末日および9月末日を基準とする当社株主名簿をもとに、同一の株主番号で、100株以上の当社株式を連続して保有している回数にて判定いたします。
保有期間3年以上とは…同一の株主番号で連続7回以上、100株以上を保有



- ②所有株式数については、優待発送の基準日時点の所有株式数のみで判定いたします。



絵：福井正之

2019年3月期 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



— 無限の可能性をカタチに —




 カーリットホールディングス株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
TEL: 03-6893-7070 FAX: 03-6893-7050

<http://www.carlithd.co.jp>



 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

証券コード 4275



新中期経営計画「ワクワク21」始動

カーリットグループは2018年に創業100周年を迎えました。新たな100年の事業基盤の確立に向けて、グループ一丸となって挑戦を継続してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）が終了いたしましたので、決算の概要および今後の事業展開につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 廣橋 賢一

7千5百万円増、同17.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は15億7千9百万円（前年同期比

7千2百万円増、同4.8%増) となりました。

連結業績ハイライト

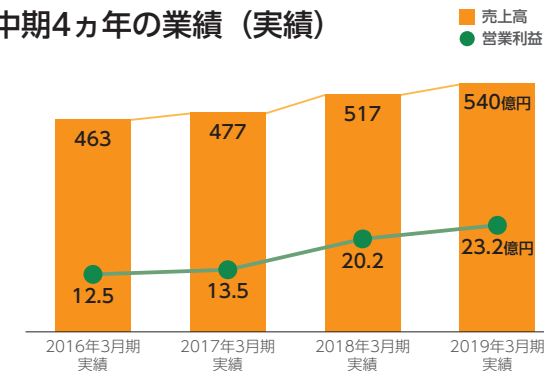
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
54,049百万円 (前年同期比4.4%増)	2,328百万円 (前年同期比14.8%増)	2,551百万円 (前年同期比17.2%増)	1,579百万円 (前年同期比4.8%増)

新中期経営計画『ワクワク(湧わく) 21』がスタート

■ 中期経営計画『礎100』を終えて

2015年度を初年度とする『礎100』では、最終年度の数値目標を売上高540億円、営業利益24億円に修正しその実現に向け取り組んでまいりました。結果、営業利益は僅かながら届きませんでした。しかしながら、概ね予想通りに推移いたしました。しかしながら、重点施策として掲げた新規事業・新規商品の創出、海外売上の拡大等の目標は達成できておらず、次期中期経営計画においてこれらの課題を解決すべく取り組んでまいります。

中期4カ年の業績（実績）



■ ワクワク感のある職場からワクワクする製品を続々と

今年度より3カ年の新中期経営計画『ワクワク(湧わく) 21』をスタートさせました。『ワクワク21』には「ワクワク」する製品やサービスの

2018年度の実績について

2018年度は、創業100周年を迎えるとともに4カ年の中期経営計画『礎100』の最終年度でもありました。次の100年の新たな事業基盤の確立を目指し、成長基盤強化、収益基盤強化、グループ経営基盤強化の3つを掲げ、中期計画達成に向けて、新製品の開発、既存製品の拡販、設備投資等諸施策を積極的に遂行してまいりました。

当連結会計年度は、化学品事業部門において自動車用緊急保安炎筒が増販となったほか、受託評価分野やセラミック材料分野が好調に推移いたしました。

また、保有する水力発電所が更新され再稼動したことも業績に大きく寄与いたしました。シリコンウエーハは、期後半以降米中貿易摩擦の影響を大きく受け急激な減速をもたらしていますが年度を通じては増販となりました。

これらの結果、連結売上高は540億4千9百万円（前年同期比 22億6千3百万円増、同4.4%増）となりました。連結営業利益は23億2千8百万円（前年同期比 2億9千9百万円増、同14.8%増）、連結経常利益は25億5千1百万円（前年同期比 3億

トップメッセージ

TOP MESSAGE

提供を通じてお客様に喜んでいただくとともに、社員が「ワクワク」して働ける職場づくりを推進するといった思いが込められています。

また、付加価値の高い製品を次々に生み出して、新たな事業領域を切り開いて行こうとの思いから「利益志向で事業の足場固めをしっかりと行い、新たな取組に向け経営資源の投入を強力に推進する」を基本テーマとしております。

既存・周辺事業の基盤を強化し、研究開発新規事業、海外展開をより積極的に行い、社会課題の解決に取り組んでまいります。



新中期経営計画『ワクワク21』数値目標(2021年度)

売上高	650億円
営業利益	30億円
ROE	8%

※現在の会計基準をベースに算定

■設備投資と研究開発

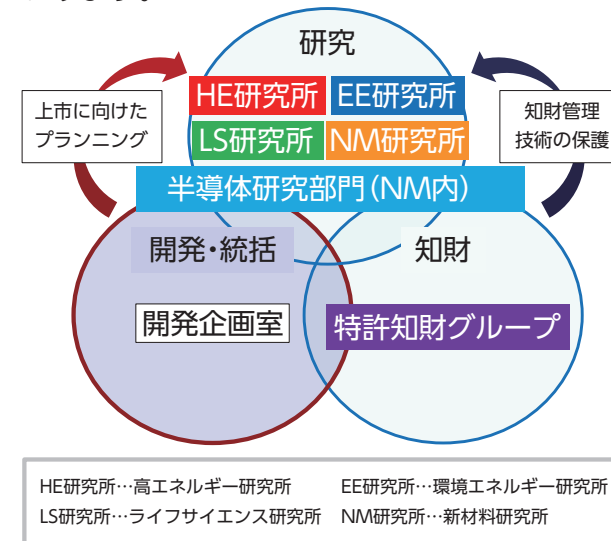
『ワクワク21』計画においては、3年間で、130億円の設備投資を予定しております。主なものとして、ボトリング事業における新ライン建設や、当社が注力する分野であるロケットの固体推進薬事業へ投資するほか、これから拡大が期待される半導体周辺材料への研究開発投資を予定しております。

効率的な資本投下を実現することで、研究開発のスピードアップ、既存事業の業容拡大を図ってまいります。



新製品の早期上市実現に関しましては、前中計の反省に立ち、新設した「開発企画室」を中心に、マーケットニーズの収集力・分析力を強化してまいります。また、国内外の大学や研究所との連携を強化しオープンイノベーションを加速してまいります。

『ワクワク21』においては、ロケット推進薬、二次電池関連、クリーンエネルギー・水素関連、環境関連、化粧品・健康食品材料、自動運転・IoT材料、半導体周辺材料を開発テーマとして掲げています。本中計期間中に刈取れる成果物は一部にとどまるかもしれませんが、数年のうちには業績に反映できるよう注力してまいります。



■ガバナンス体制とマテリアリティの特定

企業が持続的な発展を遂げて行くためには、ガバナンス体制の維持・強化は不可欠であると考えております。昨年度は、社外取締役を中心とする任意のガバナンス委員会を設置したことで、公正性・透明性のある企業運営に向け前進することができたと考えております。引き続き各種委員会活動等を通じてガバナンス体制を強化してまいります。

当社グループは、「モノづくりを通じたCSR」を推進しております。今般「社会」との持続性ある相互成長の実現を目指し、「安全・安心で生き活きた職場環境」「信頼性・透明性・収益性のある経営基盤の強化」「地域社会との共生」「豊かな社会創造への貢献」という4つの経営上の重要課題(マテリアリティ)を特定いたしました。今後のCSR活動に反映してまいります。

■無限の可能性をカタチに

カーリットグループは、創業100周年を機に策定したコーポレートスローガン「無限の可能性をカタチに」のもと、イキイキと活気溢れる職場からお客様に喜んでいただける製品やサービスを生み出し続け、積極的に新しい事業領域に挑戦してまいります。

株主の皆様には引き続き、ご支援・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

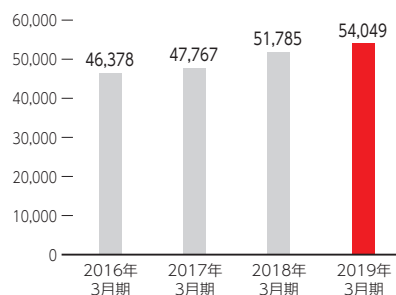
連結業績ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

- ▶ 売上高は、発炎筒や耐火・耐熱金物が好調だったことにより前年同期比4.4%増
- ▶ 営業利益は、電池試験やシリコンウェーハが好調だったことにより前年同期比14.8%増
- ▶ ボトリング事業が燃料費や輸送費のコスト増で増収減益となったものの、化学品事業、産業用部材事業は増収増益

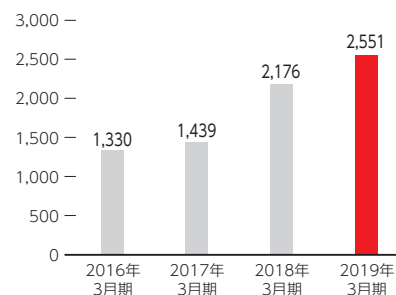
売上高

単位：百万円



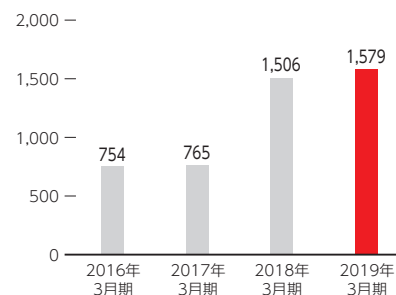
経常利益

単位：百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円

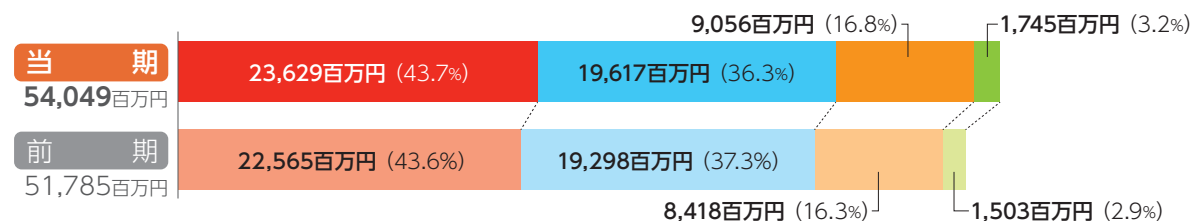


セグメント別売上高

当期の売上高 **54,049** 百万円 (前期：51,785百万円)

売上高構成比

- 化学品事業部門 **43.7%** (同 43.6%)
- ボトリング事業部門 **36.3%** (同 37.3%)
- 産業用部材事業部門 **16.8%** (同 16.3%)
- その他 (調整額消去後) **3.2%** (同 2.9%)



セグメント別の概況

SEGMENT INFORMATION BY BUSINESS CATEGORY



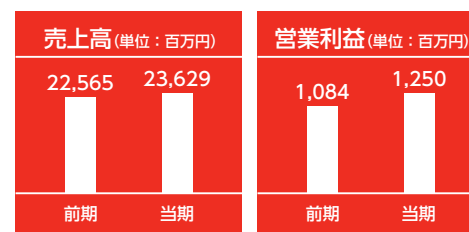
CHEMICALS 化学品事業部門

主な事業内容

人々の安全を守る自動車用緊急保安炎筒、リチウムイオン二次電池などの受託評価試験、ロケット推進薬に使用される過塩素酸アンモニウム、パソコンなどに使用される機能性高分子コンデンサ向けピロロール関連製品、研削砥石など、確かな技術により、人々の暮らしを支えています。



産業用爆薬



■ 売上高

23,629 百万円

■ 営業利益

1,250 百万円

化学分野においては、産業用爆薬は、土木案件の増加により増販となりました。自動車用緊急保安炎筒は、新車装着向けは横ばい、車検交換向けは増販となり、全体として増販となりました。また、高速道路用信号炎管、鉄道用信号炎管ともに増販となりました。一方で、煙火関連は減販となりましたが、分野全体としては増販となりました。

受託評価分野においては、電池試験は大幅な増販、危険性評価試験は減販となり、分野全体としては増販となりました。

化成品分野においては、ロケットの固体推進薬原料である過塩素酸アンモニウムは打ち上げスケジュールの影響で減販、また除草剤、過塩素酸も減販となったものの、パルプ漂白用の塩素酸ナトリウムは横ばい、電極は

増販となり、分野全体としては横ばいとなりました。

電子材料分野においては、機能性高分子コンデンサ向けピロロール関連製品、チオフェン系材料は増販となったものの、電気二重層キャパシタ用電解液は微減、アルミ電解コンデンサ向け材料、イオン導電材料は減販となり、分野全体としては微減となりました。

セラミック材料分野は、国内主要砥石メーカーの堅調な生産により、増販となりました。

その他では、販売商社である佳里多(上海)貿易有限公司、三協実業株式会社ともに増販となりました。

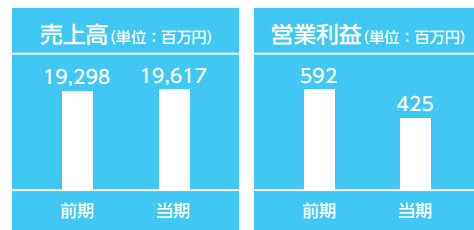
これらの結果、当事業部門全体の売上高は236億2千9百万円(前年同期比10億6千3百万円増、同4.7%増)、営業利益は12億5千万円(前年同期比1億6千5百万円増、同15.2%増)となりました。



BOTTLING ボトリング事業部門

主な事業内容

人々の暮らしの必需品となったペットボトル飲料や缶飲料の受託製造を行っております。ペットボトル飲料の生産では容器生産、調合、充填、包装、検査まで一貫した生産システムを充実させ、主として茶製品を安定的かつ効率的に生産・供給しております。



缶製品は減販となったものの、主力の茶系飲料と炭酸飲料などの委託品は増販となりました。一方で、燃料費や輸送費等のコストの増加が利益を圧迫する要因となりました。

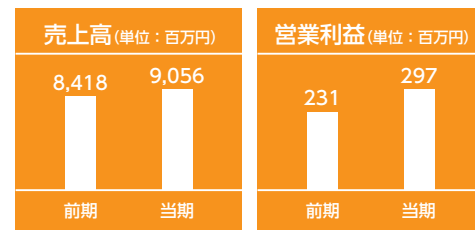
これらの結果、当事業部門全体の売上高は196億1千7百万円（前年同期比 3億1千8百万円増、同1.7%増）、営業利益は4億2千5百万円（前年同期比 1億6千6百万円減、同28.2%減）となりました。



MATERIALS 産業用部材事業部門

主な事業内容

パソコンなどに使われる半導体用シリコンウェーハ、都市ごみ焼却設備に使用される耐火・耐熱金物、自動車・建設機械向けばね・座金などを製造・販売しており、産業発展に貢献しています。



シリコンウェーハは、半導体市場の好況を受け増販となりました。

耐火・耐熱金物は、都市ごみ焼却場等の新設・補修案件、海外向け、スタッド事業ともに増販に、ばね・座金製品は横ばいとなりました。

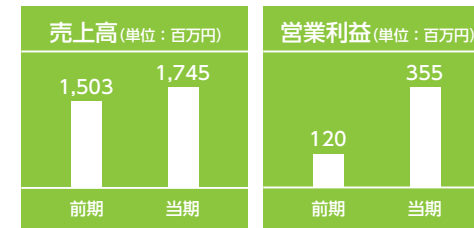
これらの結果、当事業部門全体の売上高は90億5千6百万円（前年同期比 6億3千8百万円増、同7.6%増）、営業利益は2億9千7百万円（前年同期比 6千5百万円増、同28.4%増）となりました。



OTHERS その他・消去

主な事業内容

工業用塗料・塗装工事請負、上下水・建築物等の設計・監理、不動産賃貸など、幅広い事業活動をしております。



身近なところにカーリット



私たちの身の回りの生活でよく見かける自動車や家電製品。これらに使われているねじを外れにくくする目的で取り付けられているのが、右に写っている座金製品です。

この座金製品もカーリットグループの東洋発條工業株式会社で製造しています。主な用途は、工事現場などで使われている建設機械や自動車です。成型から熱処理、表面処理、包装まで社内一貫製造体制を敷いており、これによりお客様のご要望に応じた幅広い製品を提供することが可能となっています。

外見からは全く見えない部分で使われている製品ですが、無くてはならない部品です。



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	23,220	22,942
固定資産	30,492	31,265
有形固定資産	21,245	21,453
無形固定資産	145	337
投資その他の資産	9,101	9,474
資産合計	53,712	54,208
負債の部		
流動負債	15,555	18,032
固定負債	11,404	10,487
負債合計	26,960	28,519
純資産の部		
株主資本	23,197	21,908
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	20,114	18,824
自己株式	△ 208	△ 208
その他の包括利益累計額	3,555	3,780
純資産合計	26,752	25,688
負債純資産合計	53,712	54,208

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	前期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	54,049	51,785
売上原価	45,287	43,458
売上総利益	8,761	8,326
販売費及び一般管理費	6,432	6,298
営業利益	2,328	2,028
営業外収益	347	287
営業外費用	123	139
経常利益	2,551	2,176
特別利益	130	31
特別損失	327	88
税金等調整前当期純利益	2,355	2,119
法人税、住民税及び事業税	857	757
法人税等調整額	△ 81	△ 144
当期純利益	1,579	1,506
親会社株主に帰属する当期純利益	1,579	1,506

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	前期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,848	2,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,832	△ 1,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 953	△ 1,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61	91
現金及び現金同等物の期首残高	4,222	4,131
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,286	4,222

会社概要

CORPORATE PROFILE

会社概要 (2019年3月31日時点)

商号	カーリットホールディングス株式会社 (英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
設立	2013年10月1日
資本金	2,099百万円
従業員	1,098名(連結)

主なグループ会社 (2019年3月31日時点)

● 国内	
日本カーリット株式会社	化学・化学品・電子材料品・研削材・煙火材料等の製造・販売および危険性評価試験ならびに電池試験の請負
株式会社シリコンテクノロジー	半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウエーハの製造・販売
カーリット産業株式会社	エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
ジェーシーボトリング株式会社	清涼飲料水のボトリング加工
富士商事株式会社	工業用塗料販売および塗装工事
並田機工株式会社	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売
株式会社総合設計	建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
東洋発條工業株式会社	自動車および建設機械向け各種スプリングの製造・販売
株式会社西山フィルター	工業用繊維製品の加工・販売
アジア技研株式会社	スタッドおよび溶接機械の製造・販売
三協実業株式会社	合成樹脂原料の販売
株式会社エスティーネットワーク	建築の設計および監理並びにコンサルタント業務
● 海外	
佳里多(上海)貿易有限公司	化学品および電子材料等の仕入・販売
Carlit Singapore Pte.Ltd.	化学品および電子材料等の仕入・販売
NAMITA VIETNAM CO.,LTD.	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売

役員 (2019年6月27日時点)

取締役		監査役	
代表取締役会長	出口 和男	常勤監査役(社外)※	森田 庸夫
代表取締役社長	廣橋 賢一	監査役(社外)※	松尾 典男
取締役兼常務執行役員	金子 洋文	監査役	六本木 英次
取締役兼常務執行役員	森下 貴	監査役	青木 章哲
取締役兼執行役員	岡本 英夫	執行役員	
取締役兼執行役員	坂田 貞二	執行役員	澤村 文孝
取締役(社外)※	大村 扶美枝	執行役員	谷内 俊文
取締役(社外)※	山本 和夫		
取締役(社外)※	新保 誠一		

※を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式の状況 (2019年3月31日時点)

STOCK INFORMATION

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,050,000株
単元株式数	100株
株主数	27,466名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株)退職給付信託丸紅口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	1,997	8.3
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	913	3.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	731	3.1
明治安田生命保険(株)	700	2.9
長瀬産業(株)	700	2.9
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資 信託口)	623	2.6
(株)大阪ソーダ	618	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	563	2.4
芙蓉総合リース(株)	522	2.2

所有者別株式分布状況

